

授業タイトル「死ぬまでにやりたい3つのこと」

授業時間50分 / 対象年齢 高校生 / グループ活動（4-5人）

1. 授業の目標

人生における①幸福とお金の関係について考え、②幸福を実現するための計画作りを体験し、③お金について積極的に学ぶ姿勢を育む



2. 観点別学習状況評価の各観点

《知識・技能》	金融教育で学ぶ内容を理解している
《思考・判断・表現》	自らの幸福を達成するために必要なお金を把握し、貯金計画を制作できる
《主体的に学習に取り組む態度》	お金について積極的に学ぶ意欲がみられる

3. 授業で使用するもの

- ・ 授業スライド
- ・ ワークシート×グループ数
- ・ PC、タブレット

4. 授業の展開

段階	学習内容	スライドイメージ	スライド
導入 (5分)	《お金と幸せの関係》 お金と幸せの関係について考えてみよう！ ・ お金があっても幸せでない例を学ぶ ・ この授業で行うワークの流れを理解する		1~5
活動1 (10分)	《自分の幸せの具体化》 人生でやりたいことを書いてみよう！ ・ 人生で自分がやりたい3つのことを書き出す ・ グループで話し合い、ベスト5までを決定する		6~10
活動2 (10分)	《やりたいこととお金の関係》 やりたいことにいくらかかるかを調べてみよう！ ・ グループで分担して、やりたいことにかかる金額を整理する ・ 何歳までに達成したいかを決めてみる		11~14
活動3 (10分)	《やりたいことを実現するための計画》 毎月の貯金額を明らかにしよう！ ・ 22歳の4月から働くとして、達成したい年歳までに、毎月いくらの貯金が必要かを計算する		15,16
振り返り (10分)	《金融教育の重要さの理解》 お金の知識/戦略の必要性を理解しよう！ ・ 20代の平均手取り給与から、やりたいことの実現難易度を理解する ・ お金にまつわる知識/戦略を学ぶ、金融教育の重要性を理解する		17~22

5. 授業を通した子どもたちへのメッセージ

お金をたくさん持つこと＝幸せであることのような認識は多いですが、実際はその人が何を幸せと感じるかによって、必要なお金の量は異なります。自分の幸せを定義した上で、それに必要なお金を手に入れられるようにするために、金融教育は良い手段です。自分の幸せのために、積極的に学んでください。

6. 学習指導要領で該当する項目

家庭・公民など

家庭：持続可能な消費生活・環境（生活における経済の計画）
 公民：自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち（金融の働き）

授業タイトル「貯金を増やすための方程式」

授業時間50分 / 対象年齢 高校生 / グループ活動（4-6人）



1. 授業の目標

シミュレーションを通し、①家族における消費項目とその値段を知り、②方程式で先取り貯蓄の利点を理解し、③計画性を大切にする姿勢を育む

2. 観点別学習状況評価の各観点

《知識・技能》	家計にまつわる数値情報を支出、収入に分けられる
《思考・判断・表現》	収入、支出、貯金を並べ替えて、先取り貯蓄の方程式が立てられる
《主体的に学習に取り組む態度》	ライフプランにおける計画性の重要性を理解している

3. 授業で使用するもの

- ・授業スライド
- ・ワークシート×グループ数
- ・PC、タブレット

4. 授業の展開

段階	学習内容	スライドイメージ	スライド
導入 (5分)	《貯金の方程式》 収入、支出、貯金を式でまとめてみよう！ ・収入、支出、貯金の意味を整理する ・自分で考えて試しに収入、支出、貯金の関係を式で表してみる		1~12
活動1 (10分)	《3人家族の支出項目を洗い出し》 1ヶ月でかかるお金を洗い出してみよう！ ・グループディスカッションで、3人家族で必要な支出の項目を洗い出してみる ・支出それぞれの金額を調べる		13~23
活動2 (15分)	《支出の総額、分類ごとの額を計算》 1ヶ月の支出の総額を計算してみよう！ ・支出の金額の総額を計算してみる ・支出項目を分類し、分類ごとの額も計算してみる		24~30
活動3 (10分)	《人生の3大支出を計算》 教育、住宅、老後の3大支出を加味してみよう！ ・教育、住宅、老後の3大支出それぞれの値段を知る ・それぞれの支出の規模を理解し、貯金の必要性を理解する		31~37
振り返り (10分)	《貯蓄のパターン》 先取貯蓄と後取貯蓄について学んでみよう！ ・“先取貯蓄”と“後取貯蓄”の両方の特性を理解する ・3大支出と兼ね合わせて、“計画性”の重要性を理解する		38~49

5. 授業を通した子どもたちへのメッセージ

「お金を貯める」ということは、無条件に良いこととされがちですが、実際にシミュレーションしてみると「なぜ貯金が必要か」ということがわかります。3大支出など、自分のこれからの人生をイメージして貯金する“先取貯蓄”をぜひ選択肢に入れてみてください。

6. 学習指導要領で該当する項目

家庭・公民など

家庭：持続可能な消費生活・環境（生活における経済の計画）
 公民：自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち（少子高齢社会における社会保障の充実・安定化）

授業タイトル「お金を借りるための信用とは？」

授業時間50分 / 対象年齢 高校生 / グループ活動（4-5人）



1. 授業の目標

お金の貸し借り体験ゲームを通して、①貸す側の思考を体感し、②信用という概念を理解し、③計画性を持った判断をしようとする

2. 観点別学習状況評価の各観点

《知識・技能》	クレジットやローンについて理解している
《思考・判断・表現》	貸す側の思考を知り、信用という概念の重要性を理解できる
《主体的に学習に取り組む態度》	信用の重要性を理解し、借りられる人になる方法を考えることができる

3. 授業で使用するもの

- ・授業スライド
- ・ワークシート×グループ数
- ・PC、タブレット×グループ数

4. 授業の展開

段階	学習内容	スライドイメージ	スライド
導入 (10分)	《お金を借りる方法》 クレジット・ローンについて知ろう！ ・成人年齢が変わることで、実際になにが変わるのかを知る ・クレジット・ローンとはなんなのかを知る		1~12
活動1 (10分)	《高い買い物の項目》 25万円以上の買い物を考えてみよう！ ・25万円以上の買い物を自分で考えてみる ・教育、住宅、自動車の3項目でそれぞれ専用のローンがあること、人生で自分もお金を借りる可能性があることを知る		13~25
活動2 (15分)	《貸し借りをゲームの体験》 返す人、返せない人を見極めよう！ ・カードを引いて、自分に与えられた役割になってお金の貸し借りゲームをする ・貸す側は返済をしてくれる人が誰かを見極めて、一人を選ぶ		26~31
活動3 (5分)	《信用のもととなる2つの項目》 信用をつくる能力と意志について知ろう！ ・“信用”があるかどうかを判断する際に、「返済する能力（収入）」と「返済する意志」2つの項目の有無で判断することを知る		32~36
振り返り (10分)	《ゲームの結果を振り返り》 能力と意志で信用を判断してみよう！ ・ゲームの中で配られたカードを公開し、それぞれの役割が能力、意志から考えて、借りられる人だったか、借りられない人だったかを振り返る		37~46

5. 授業を通した子どもたちへのメッセージ

人生にはさまざまなイベントがあり、どこかのタイミングで「お金を借りる」ことが必要になる可能性はみなさんにも大いにあります。その時に“信用”がある人とはどんな人か。またその“信用”を手に入れるにはどうすればいいかがわかっていることが、みなさんの助けになるはずですよ。

6. 学習指導要領で該当する項目

家庭・公民など

家庭：持続可能な消費生活・環境（生活における経済の計画）
 公民：自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち（金融の働き）

授業タイトル「お金を育てる投資という選択肢」

授業時間50分 / 対象年齢 高校生 / グループ活動 (4-6人)



1. 授業の目標

①投資という選択肢を知り、②ギャンブルとの違いを理解し、③経済情報など、世の中の動きについての興味関心を育む

2. 観点別学習状況評価の各観点

《知識・技能》	投資という概念について理解することができる
《思考・判断・表現》	情報を活用して予測をし、リスクを下げる考え方ができる
《主体的に学習に取り組む態度》	経済情報など、世の中の動きについての興味関心がある

3. 授業で使用するもの

・ 授業スライド	・ PC、タブレット×グループ数
・ ワークシート×グループ数	

4. 授業の展開

段階	学習内容	スライドイメージ	スライド
導入 (10分)	《10万円の買い物》 10万円の使い道を書いてみよう！ ・ 10万円をもらったとした時に買いたいものを洗い出し、消費、浪費、貯金に分ける ・ お金を育てる投資という選択肢について学ぶ		1~13
活動1 (10分)	《投資という選択肢》 投資とはなんなのかを理解しよう！ ・ 10万円を10万円以上に増やす方法を自由にグループで話してみる ・ 株式投資とはなんなのかを構造で理解する		14~23
活動2 (10分)	《投資体験ゲーム》 10万円を10万円以上に育ててみよう！ ・ ゲーム会社の過去の株価データから株式投資の仕組みを理解する		24~30
活動3 (15分)	《投資体験ゲーム②》 伸びる会社を当ててみよう！ ・ 4業種の会社の過去の株価データから、情報を使った株価の変動予測を体験してみる ・ 情報と予測で、リスクを下げるのが可能なことを理解する		31~49
振り返り (5分)	《投資の広義理解》 勉強も練習も自己投資だということを理解しよう！ ・ 投資のポイントを整理して理解する ・ 広義の意で、練習や勉強も投資の一つであることを理解する		50~54

5. 授業を通した子どもたちへのメッセージ

投資というと、楽しく儲かったり、リスクが高かったり、少し極端なイメージも広まっていたりしますが、本質は「情報と予測をもとに、価値を育てる」ことにあります。経済情報など、世の中の動きについて学び、消費、浪費、貯金に並ぶ第4の選択肢として、投資を頭に入れておいてください。

6. 学習指導要領で該当する項目

家庭・公民など

家庭：持続可能な消費生活・環境（生活における経済の計画）
 公民：自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち（金融の働き）

授業タイトル「違いを価値に。稼ぐ方法を考える」

授業時間50分 / 対象年齢 高校生 / グループ活動 (4-6人)



1. 授業の目標

アイデアワークを通して、①価値という概念を捉え、②有用性と希少性の重要さに気づき、③人との違いをポジティブに認識できるようになる

2. 観点別学習状況評価の各観点

《知識・技能》	“価値”という概念を知り、捉えることができる
《思考・判断・表現》	有用性や希少性を高めるアイデアを考えられる
《主体的に学習に取り組む態度》	違いを希少性の源泉と捉え、ポジティブに再解釈することができる

3. 授業で使用するもの

- ・授業スライド
- ・ワークシート×グループ数
- ・PC、タブレット×グループ数

4. 授業の展開

段階	学習内容	スライドイメージ	スライド
導入 (10分)	《100万円を稼ぐ方法》 高校生の時給から、100万円までの道のりを知ろう！ ・高校生のアルバイト平均時給から、100万円稼ぐまでの道のりを計算する ・20代の平均貯金額/月から、100万円までの道のりを計算する		1~11
活動1 (5分)	《500円で水を売る方法》 価値が高くなる例を見てみよう！ ・500mlの水を500円で売れるアイデアをグループで考えて発表する ・1案でたグループは2案、3案考えてみる		12~19
活動2 (10分)	《価値という概念の理解》 需要と供給で考えてみよう！！ ・水が500円で売れる事例から、需要と供給について知る ・活動3の3問に、需要と供給の考え方を活かす		18~22
活動3 (10分)	《価値を意識したアイデア発案》 コーラ、駄菓子、氷を売ってみよう！ ・価値を意識しながら、いくつかの商品を指定された値段で売する方法をグループで考える ・1案でたグループは2案、3案考えてみる		23~38
振り返り (15分)	《違いを価値に変える思考》 有用性と希少性を意識しよう！ ・需要を作り上げる“有用性”と、供給不足を意図的に生み出すための“希少性”で価値を上げられることを学ぶ ・希少性は「他との違い」が根幹にあり、「違う」ことを価値に変える思考を学ぶ		39~49

5. 授業を通した子どもたちへのメッセージ

「お金を稼ごう」と考える時に、ついつい長い時間を働くことに意識が行きがちですが、稼ぐことの本质は「価値」にあり、それは有用性と希少性でコントロールが可能です。有用性を磨き、希少性が高い場所を見つける考えはキャリア選択にも使うことができます。自分の価値を最大化できる選択を是非してください。

6. 学習指導要領で該当する項目

家庭・公民など

家庭：持続可能な消費生活・環境（生活における経済の計画）
 公民：自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち（雇用と労働問題）

指導案カテゴリ： 家庭科／探究

授業タイトル「学ぶ機会を手に入れる奨学金という時短法」

授業時間50分 / 対象年齢 高校生 / グループ活動 (4~5人)

1. 授業の目標

①大学とお金の関係を学び、②奨学金という選択肢があることを知り、③お金だけではないメリットについて学ぶ



2. 観点別学習状況評価の各観点

《知識・技能》	大学でかかる費用（学費）について理解している
《思考・判断・表現》	奨学金のメリットについて多角的に考えることができる
《主体的に学習に取り組む態度》	奨学金によって広がる可能性を積極的に理解しようとしている

3. 授業で使用するもの

・ 授業スライド
・ PC、タブレット

4. 授業の展開

段階	学習内容	スライドイメージ	スライド
導入 (10分)	《大学の目的・種類・学費》 「大学」の基礎知識を知ろう！ ・ 大学の目的・種類について学ぶ ・ 奨学金という選択肢を知る		1~12
活動1 (10分)	《大学生生活に必要なこと》 どんな人が社会で求められるのか考えよう！ ・ 企業がどんな人材を求めているのかを知る ・ 「時間」の重要性について考える		13~26
活動2 (15分)	《大学生生活とお金の関係》 大学生活にいくらかかるかを調べてみよう！ ・ 一人暮らしにかかるお金を考える ・ 学費について知る		27~46
活動3 (10分)	《奨学金のメリットを考えてみる》 奨学金でどれだけ「時間」を稼げるか考えよう！ ・ 奨学金の毎月の平均金額を知る ・ アルバイトでその金額を稼ぐのにかかる時間を考える		47~55
振り返り (5分)	《まとめ》 奨学金のメリットを理解しよう！ ・ 奨学金はお金と時間をサポートをしてくれることを理解する ・ 奨学金という選択肢をとっている大学生は多いことを知る		56~59

5. 授業を通した子どもたちへのメッセージ

大学生活にはどうしてもお金がかかってしまいます。しかし、どれぐらいのお金がかかるのかを知る機会それほど多くはありません。ただ漠然と「すごい高い…」というイメージを持ち、進学をあきらめる人もいるかもしれません。お金を正確にとらえ、奨学金という選択肢を知り、自分の可能性をあきらめないでほしいです。

6. 学習指導要領で該当する項目

家庭・公民など

家庭：持続可能な消費生活・環境（生活における経済の計画）
公民：自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち（金融の働き）

指導案カテゴリ： 家庭科／探究

授業タイトル「詐欺から身を守る金融トラブル回避のコツ」

授業時間50分 / 対象年齢 高校生 / グループ活動 (4~5人)

1. 授業の目標

①金融トラブルの現状を知り、②金融トラブルを避けるための3つのヒントについて学ぶ



2. 観点別学習状況評価の各観点

《知識・技能》	金融トラブルの実態を理解している
《思考・判断・表現》	金融トラブルを避けるための方法を自分の家族と照らし合わせて考えている
《主体的に学習に取り組む態度》	金融トラブルが発生する構造を理解しようとしている

3. 授業で使用するもの

- ・ 授業スライド
- ・ 資料 台本（教員のみ）

4. 授業の展開

段階	学習内容	スライドイメージ	スライド
導入 (5分)	《お金を「守る」という発想》 お金の動詞を考えよう！ ・ お金を〇〇→〇〇に入る動詞を個人で考える ・ それぞれの意見を発表する		1~5
活動1 (10分)	《詐欺の年間被害額》 どんな人が詐欺にあっているのか分析しよう！ ・ グループでジャンル別に詐欺被害の特徴を考える (5分) ・ グラフ化した資料を見て、より深く分析する (5分)		6~20
活動2 (10分)	《①一次情報を検索する》 ニュースを見抜く！ ・ 情報の真偽を考える ・ 情報の適切な判断方法を知る		21~30
活動3 (10分)	《②感情と論理を切り分ける》 手品を見抜く！ ・ だまされる仕組みを考える ・ 感情と論理を切り分けることを知る		31~42
活動4 (15分)	《③コミュニケーション+まとめ》 詐欺から身を守る！ ・ 詐欺の方法を体験する ・ 詐欺にあわない方法を考える ・ まとめ (1分)		43~51

5. 授業を通した子どもたちへのメッセージ

「自分だけは騙されない」そう思っている人も多いかもしれませんが、年々詐欺の方法を巧妙化しています。自分が騙されなくても家族が騙される可能性もあります。そういった金融トラブルから身を守るためには、知識が必要です。この授業を通して、家族と話し合う時間が増えればと思います。

6. 学習指導要領で該当する項目

家庭・公民など

家庭：持続可能な消費生活・環境（生活における経済の計画）
公民：自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち（金融の働き）